

せいわにし 学校だよ!

令和6年12月10日(水)
伊賀市立成和西小学校 No. 28
伊賀市大内624番地
<http://www.iga.ed.jp/seiwanishi-e/>

「部落問題を考える小学生の集い」

11月27日(木)、ゆめぽりすセンターと DMG MORI アリーナで、今年度の「部落問題を考える小学生の集い」が開催され、本校を代表して、6年生の佐原 凜香さんと中島 愛莉さんが参加しました。この集いは、伊賀市内全小学校の6年生の代表が集まって、各校での部落問題学習や人権学習の交流と差別をなくす思いを話し合うことで、「反差別のなかま」として、つながっていくことを目標としています。前半は、各校での聞き取り学習やクラスでの話し合いの中で学んだことや気づいたこと、考えたことをを中心に交流しました。また、後半は差別をなくしていくために自分たちの学級で取り組んでいることを中心に交流しました。最後の感想交流では、「みんなが、うなずいて聞いてくれた。すごく話しやすかった。共感してくれてうれしかった」「他の学校の取組や意見を聞いてよかったです。新しいことにも気づいた」「差別をなくそうしてくれている人がいて心強かった」などの感想が出されました。各校での部落問題学習・人権学習の深まりを感じる集いでした。

4年生見学調査

11月28日(金)に4年生が「三重県立総合博物館」、「三重県庁」へ見学調査に出かけました。博物館では、班別に館内を見学しました。三重県の歴史や自然環境、産業、人々の暮らしの様子など、展示物がたくさんあり、子どもたちは熱心に見学してメモをとっていました。次に県庁では、県庁の役割やはたらきについて説明を聞いた後、普段は見ることができない地下の免震構造を見せてもらいました。庁内を歩いて見学したあと、最後に県議会の議場にも入らせてもらいました。たいへん勉強になる有意義な一日となりました。



ねんせいししみんかんがくしゅう 6年生市民館学習

12月5日(金)に6年生が下郡市民館で人権学習をしました。はじめに田中館長さんから市民館では、いじめや差別をなくすために講演会や地区懇談会など、大人も学習していることなどを聞きました。次に人権教育推進員の飯代さんから、いじめや差別をなくしていくために、次のような話を聞きました。

- ・差別をする人がいるから、残念ながら今も差別は残っている。差別は、する側の問題で、受ける側の問題ではない。どんなことがあっても、差別をしてもいい理由にはならない。
- ・「自分のことを好きになる」「一人ひとりの違いを認め合う」ことで仲間としてつながろう。仲間としてつながることが差別をなくす原動力となる。
- ・自分が相談できる人、関係、場所をつくっておく。
- ・一人では注意できなくても、仲間と一緒に注意しよう。いじめや差別を許さない仲間を増やそう。
- もし、注意できなくても「おかしい」と思う気持ちをもち続けよう。



～授業参観、人権講演会、学級懇談会へのご参加ありがとうございました!～

12月6日(土)に行いました、授業参観、人権講演会、学級懇談会には、たいへん多くの保護者・地域の皆様に来校いただき、ありがとうございました。授業参観では、各学年の人権学習を見ていただきました。講演会では、上野ひまわり作業所所長の奥西利江さんから『違いを認め、寄り添い合う社会へ～「福祉」という言葉を「暮らし」という言葉に置き換えて～』という演題で、お話を聞きました。学級懇談会では、参観や講演会の感想をお聞きし、担任から各学年の学習の取組について説明しました。

1年 「おおひとやま」



4年 「思春期の体と心の変化」



2年 「大きくなった自分をふり返ろう」



5年 「子どもの人権について考えよう」



3年 「実はこれ全部自分なんです」



6年 「私のせいじゃない」

